

ほっとけない世界のまずしさ



www.hottokenai.jp

2008年10月28日

ご支援いただいているみなさまへ

ほっとけない世界のまずしさの解散のお知らせと今後について

ほっとけない世界のまずしさ（2007年4月より特定非営利活動法人）は、貧困をなくすためのグローバルなキャンペーン「GCAP」（Global Call to Action against Poverty）の日本キャンペーンとして2005年5月に立ち上がりました。それ以来、2008年に日本が第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を開催し、主要国首脳会議（G8サミット）の議長国となることに照準を合わせ、約3年間、貧困問題を解決するためのアドボカシー活動とキャンペーンを展開してまいりました。これらの一連の活動の終了に伴い、当会はさきごろ行われた会員総会において、10月末日を持って法人を解散し、GCAP ジャパンの新体制に活動を引継ぐことを決議しました。ここにご報告するとともに、これまでの多大なるご支援とご協力に感謝申し上げます。

当会は、2005年、GCAPの世界的な広がりを受け、「いま、世界で3秒にひとり、子どもが貧困で命を落としている」というメッセージのもとに、日本国内でも貧困解決のシンボルであるホワイトバンドを身につけてもらうことを呼びかけました。このキャンペーンは、世界で100カ国以上に広がり、国内だけでも数百万人の方々の賛同と協力を得ることができました。また、その時に得られた貴重な収益金や活動実績が基礎となり、日本がG8サミットの議長国となるこの重要な年（2008年）に向けて、140を超える市民団体のネットワークである「2008年G8サミットNGOフォーラム」が結成されました。当会は、同フォーラムを資金的・人的に支援するとともに、同フォーラムと緊密に連携をとりながら、独自にMDGs（ミレニアム開発目標）サインアップキャンペーンも展開しました。ご賛同いただいた方々の声は、福田首相（当時）にお届けしました。

これまでの事業・会計報告等につきましては、年表（<http://www.hottokenai.jp/pub/uploads/pdf/p9-12.pdf>）、2008年度前期の活動報告（<http://www.hottokenai.jp/pub/uploads/pdf/activity2008.pdf>）、『社会責任報告書 2008』（http://www.hottokenai.jp/report-pdf/hottokenai-social_responsibility_report-web.pdf）ならびに2007年度監査報告書（<http://www.hottokenai.jp/pub/uploads/pdf/kansa2007.pdf>）・決算報告書（<http://www.hottokenai.jp/pub/uploads/pdf/kessan2007.pdf>）をご参照ください。4月1日から10月31日までの監査報告書につきましては、外部監査終了後にウェブ上で公開する予定です。

いまや世界最大の市民社会ネットワークとなった GCAP は、世界の貧困を半減するとしてミレニアム開発目標の達成を目指して、2015年まで活動を継続することになっています。当会は、GCAP ジャパンの活動継続のため、後継 GCAP ジャパン事務局を担う組織を募集し、第三者による審査を経て、2005年から活動に深く関わっている（特活）アフリカ日本協議会（AJF: Africa Japan Forum）にこれをお願いすることとなりました。また当会は、AJF とともに、これまで当会に深く関わってきた諸団体や、2008年 G8 サミット NGO フォーラムのメンバーなどにより構成される GCAP ジャパン移行検討委員会を立ち上げました。後継 GCAP ジャパンの中核メンバーは、早速 2009 年 G8 サミットに向けて、議長国である

イタリアで行われた GCAP G8 グループの活動計画会議に参加しています。

当会の最後の活動として、10月17日から19日まで、GCAPと国連ミレニアム・キャンペーンの共催である世界的アクション「STAND UP TAKE ACTION 2008」(<http://www.standup2015.jp/>)をAJFやGCAP移行検討委員会のメンバーらとともに実施しました。日本でSTAND UP TAKE ACTIONに参加したイベントは393を数え、22505人が立ち上がりました。なかでも、日本国内の反貧困ネットワークとの連携は、メディア等でも大きく取り上げられました。全世界では、1億1699万3629人が立ち上がり、目標であった世界人口の1%（約6700万人）を大きく上回り、ギネス記録を樹立しました。

みなさまには、これまで当会をご支援、ご協力いただき、また時にはご助言や励ましのお言葉をいただき、本当にありがとうございました。みなさまからは、今後も後継 GCAP ジャパンの活動へのご理解とご支援、これまで以上の積極的なご参加を賜りたく、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ほっとけない世界のまずしさ

代表理事 林 達雄

理事・スタッフ一同